

2020年度事業計画書

特定非営利活動法人 まち・コミュニケーション

1 事業実施の方針

2020年度は、特定非営利活動法人まち・コミュニケーションの法人及び事業の継続、発展を目指し、活動してまいります。今年度は、東日本大震災、熊本地震の被災地等で「社会的孤立を起こさないために、人と人の繋がりづくり」を促進するための支援活動を行ってまいります。

同時に、これまでの災害復興支援で得た教訓をまとめ、広めることで、全国へ事前防災・復興を啓蒙します。事前復興の調査、研究、発信も力を入れたいと思います。それにより、多くの方からの活動への参加や応援をいただけるよう努めます。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定回数	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者範囲・予定数	事業収益見込額(千円)
被災地復興支援事業	被災地を支援。地元の方が復興まちづくりに安心して取り組めるよう地域の調査を行い、関係者と共に、地域づくりに関わる。	24日/年	宮城県石巻市他、東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨等被災地	2名	被災地住民100名 周辺関係者	0
地域まちづくり支援事業	これまでの活動経験から、平常時のまちづくり支援をする。事前復興まちづくりに取り組む地域を支援する。	15日/月	全国	2名	平常時のまちづくりに取り組む地域	200
まちづくり研究調査事業	まちづくりに関連する大学(社会学系等)のゼミや授業、論文執筆者、関東都市学会事務局などをサポート。地域に関わり地域で学ぶためのきっかけづくりを支援する。	10日/年	大学の他、神戸市内及び東日本大震災・熊本被災地	2名	大学等(学生・研究者)18団体	420

震災体験学習事業	小・中・高校生に、震災体験学習を実施する。	1回/年	神戸市長田区内	20名(語り部含む)	小・中・高校生100名	30
研修受入事業	震災、復興まちづくり、ボランティアなどをテーマに研修をする。	12回/年	神戸市長田区内	3名	国内外の大学生以上 20団体	600
講師派遣事業	講演会やシンポジウムに講師やパネリストとして出演し、これまでの経験を元にお話する。	12回/年	国内外各所	3名	まちづくり実践団体・自治体等 25団体	500
まちづくり勉強会事業	東日本大震災・熊本地震・阪神・淡路大震災や防災まちづくり・事前復興等をテーマに勉強会を開催する(小勉強会含む)インターネットでも発信する	20回/年	神戸市及び全国	2名	一般市民・学生 200名	400
地域間交流事業	兵庫県豊岡市出石町にある鳥居やすらぎ市民農園で畑を耕しながら、農園の活性化はもとより、都市(神戸からの参加者)と農村の交流を行う。	20回/年	兵庫県豊岡市出石町鳥居地区他	3名(+農作業従事者)	一般市民と農作業従事者(100名)と購入応援団(100名)	1,200
国際交流事業	これまでの経緯を通じた日台交流と、神戸とアジア、各国の復興まちづくりをつなぐ取り組みを行う。	3回/年	国内及び台湾・インドネシア・世界	2名	一般市民・留学生 20名	0
情報発信事業	通信誌「季刊まち・コミ※1」とホームページ「WEBまち・コミ※2」を制作し、当法人の活動やまちづくりの情報を伝える。フェイスブック※3、ブログ「まち・コミブログ※4」では主に日々の活動を報告。また、Eメールを利用して「まち・コミメールニュース※5」を発行する。また、被災地支援活動から得られた教訓を広めるために「被災地のつぶやき※6」を運用。全国へ事前防災・復興を啓蒙する。 テーマ毎の活動を知って頂くため、対象者へ情報発信をしていく※7。	※1 4回/年 ※2 12回/年 ※3 ほぼ毎日 ※4 随時 ※5 6回/年 ※6 毎日 ※7 随時	神戸市長田区	3名	会員ほか ※1 500部/回 ※5 6000通	0

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①通常総会

開催日 2020年2月9日(日)

開催場所 まち・コミュニケーション事務所

②理事会

第1回

開催日 2020年2月9日(日)

開催場所 まち・コミュニケーション事務所

第2回

開催日 2020年2月9日(日)

開催場所 まち・コミュニケーション事務所

③事務局会議

随時

(2) 事務局体制

宮定章・戸田真由美